

代表者名	代表取締役社長 西條允敏	所管部課	産業部商工観光課
所在地	中瀬2-7	設立年月日	平成13年2月5日

1 設立目的・経過

モータリゼーションの進展等や相次ぐ大型小売店の郊外への進出によって、買い物場が郊外の大型小売店にシフトしており、中心市街地の集客力が低下傾向にある。
「まちの顔」とも言うべき中心市街地に賑わいを取り戻すためには、中心市街地をハード・ソフトの両面から整備する必要がある。
当市では、平成11年3月に「石巻市中心市街地活性化基本計画」を策定し、中心市街地の活性化に取り組んでおり、その事業の担い手として、平成13年2月に株式会社街づくりまんぼうが設立された。

2 出資・出捐状況 (単位:円)

区分	出資・出捐金額	比率
石巻市	30,000,000	50.00%
他自治体	0	0.00%
その他	30,000,000	50.00%
計	60,000,000	100.00%

3 経営状況 (単位:円)

損益計算書(P/L)				貸借対照表(B/S)		
売上高又は当期収入額合計	経常利益(損失)又は当期正味財産増加(減少)額	当期利益(損失)	減価償却費	総資本/資産合計	他人資本/負債合計	自己資本/資本合計
260,199,880	47,807,455	2,067,623	0	125,283,043	62,416,049	62,866,994

4 財政支出 (単位:円)

調査対象法人への財政的支援					委託事業	
補助金交付額	貸付金残高	損失補償限度額	損失補償契約に係る債務残高	債務保証契約に係る債務残高	事業内容	委託料(人件費含む)
0	0	0	0	0	石ノ森萬画館運営(指定管理)	55,000,000

5 組織

①役員数

常勤	うち市OB	うち市職員
1	0	0
9	0	0
10	0	0

②職員数

常勤	うち市OB	うち市職員
8	0	0
14	0	0
22	0	0

※正職員
平均年齢
33.77歳

平均勤続年数
5年5月

6 評価指標/評価一覧

指標	計算式	数値	過去3年平均伸び率等	評価	
健全性	①自己資本比率	自己資本/総資本 ※土地開発公社除く	50.2%	—	概ね良好
	②流動比率	流動資産/流動負債	199.4%	—	良好
	③補助金比率	補助金/売上高(経常収益)	—	—	—
	④累積欠損金	自己資本-資本金 ※マイナスの場合	—	—	—
目的適合性	⑤収益事業比率	収益事業の事業費/全事業費 ※公益認定を受けた法人のみ	—	—	—
収益性採算性	⑥経常利益	経常利益(損失)又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額	47,807,455	3年連続黒字	良好
	⑦売上高伸び率	売上高(経常収益)の対前年比	123.4%	109.8%	概ね良好
効率性	⑧管理費比率	管理費/経常費用 ※一般社団法人又は一般財団法人のみ	—	—	—
	⑨人件費比率	人件費/売上高(経常収益)	20.8%	91.3%	概ね良好

7 事業実績及び効果

株式会社街づくりまんぼうは、平成13年2月の設立以来、当市の中心市街地活性化を担うTMOとして、積極的な事業展開を図っており、平成13年7月の石ノ森萬画館開館以来、石ノ森萬画館管理運営の受託のみならず、石ノ森萬画館内でのグッズショップや喫茶事業など、マンガを活用した収益事業を展開している。
その収益等により、中心市街地の空き店舗を活用した「街づくり『ほっ!』&ステーション」(チャレンジボックスショップ)や石巻を代表するお祭りとして定着しつつある「石巻マンガ灯ろう祭り」などの様々な事業を実施し、中心市街地の活性化に努めている。

※平成21年度に取り組んだ各種事業

1 収益事業

- ① 墨汁一滴(萬画館1階グッズショップ)で、新商品の開発、新規仕入先の開拓によって商品のアイテム数を増やすとともに、企画展に連動した期間限定の販売を行い、売上高の確保を図った。
- ② カフェ・フルゾーン(萬画館3階展望軽食喫茶)で、消費の低迷や原料価格の高騰等によって売上及び利益確保に苦慮しましたが、企画展毎に独自のメニューを打ち出し、集客及び客単価のアップを図るとともに、情報誌等に積極的にメニューの紹介記事を掲載し、新規顧客の開拓にも努めた。
- ③ イベント形式の物販展として、ヒューマンフェスタ(夢メッセ)、サイボーグ009展(お台場)、宮城物産展(池袋ココみやぎ)等、各種イベントへ積極的に参加し、石巻のPRと売上増加に努めたほか、松島大観荘、志津川ホテル観洋、三井アウトレットパーク等、新たな販路の拡充を行い、売上増加に努めた。
- ④ オリジナルキャラクターである「シージェッター海斗」について、春のマンガッタン祭り、マンガ灯ろう祭り、石巻川開き祭り、おしかホエールランドまつり、河南市民まつり、柳津虚空像尊秋まつり、港湾感謝祭等の地元の催事に出演した他、みやぎまるごとフェスティバル(仙台市)、Dekky201感謝祭(新潟市)等、県内外のイベントにも出演した。また、地元企業等と共同で海斗商品の開発・販売を行った。
- ⑤ オリジナルプレミアム商品(結核予防会)、石巻産ササニシキ・ひとめぼれパッケージ(JAいしのまき)、市内運送会社のトラック等に石ノ森作品を使用し、「萬画の国」の盛り上げに寄与した。また、石ノ森章太郎をはじめとする作家の先生方の作品展や、マンガに関する創作体験メニューを充実させ、各地で開催した。

2 中心市街地活性化事業

- ① 街づくり会社として、「中心商店街連絡協議会」に参加し、「中心市街地活性化基本計画」の策定に関わった。
- ② 中心市街地活性化基本計画・商業活性化戦略事業の推進にあたり、商業者・関係者の啓蒙・意思統一を図る目的で、㈱エクライズによる「石巻を活性化するための3つのヒント」等の講演会を開催した。
- ③ 中心市街地活性化基本計画の先行事業として、経産省・石巻市の補助事業を受託し、中心商店街にマンガモニュメント11体、マンガフラッグ200枚の新設、既存の漫画家ギャラリー、マンガ案内板、スタンプラリーのリニューアルを行った。
- ④ 石巻市空き店舗有効活用支援事業として、石巻専修大学 李准教授ゼミの学生との共同事業として、チャレンジショップを実施した。
- ⑤ まちなか賑わい創出補助事業として、市役所大通りに弊社直営で、お休み処「坂下でほっとといき なごみ庵」、また、アイトピア通りに石巻専修大学と弊社の共同事業で地場産品販売・まちなか交流休憩所「アンテナ・ジュースカフェ ほーぶず」を開業した。
- ⑥ 音楽で街を明るくしようという趣旨のもと、中心市街地内の7会場で「トリコロレ音楽祭2009」を実施した。
- ⑦ 2年振りに「クラシックカーミーティングIN石巻」を開催し、遠くは関東・東海地方から約80台のクラシックカーが中瀬公園に集結、多くの市民の方々が参集した。

3 広義の街づくり事業

- ① 石巻PTA協議会の全面的な協力の下に「第9回マンガ灯ろう祭り」を開催。2,000個以上の灯ろうが集まった。
- ② 「春のマンガッタン祭り」などを実施し、中心市街地の活性化に努めた。

4 総務部事業

- ① まんぼう会員事業として「まんぼうマップ」の発行や、石巻を訪れた観光客に石巻の情報を提供や市内共通駐車券の販売を行った。

5 石ノ森萬画館運営事業

- ① 企画展の成功や地道に行ってきた営業・広報・教育普及活動の成果に併せて、ETC割引、シルバーウィーク等が重なり、目標及び昨年実績を上回る入館者数を記録した。(平成21年度の総入館者数は170,958人、うち有料入館者数は77,722人)

・企画展 ギャグマンガの王様 赤塚不二夫展(平成21年4月11日~6月28日)ほか3
・ワークショップ 天旗を作ろう(平成21年5月3日)ほか3

8 経営上の課題、問題点等

当該法人は、中心市街地活性化のために設立された法人であり、TMOとして中心市街地の活性化に取り組むとともに、石ノ森萬画館を起点に漫画を活かした街づくりを進めながら、イベントなどのソフト事業や空き店舗活用など地域経済の再生に向けた事業を展開している。

萬画館の有料入館者数は、平成14年度の約14.7万人をピークに減少傾向にあったが、昨年夏以降、企画展の成功や地道に行ってきた営業・広報・教育普及活動の成果に併せて、ETC割引やシルバーウィーク等が重なり、前年比1割増の約7.8万人を集客することに成功した。

これまでも、リピーターの確保や新規入館者数の増加のため、首都圏での出張販売等積極的に営業活動しているが、今後も、中心市街地活性化基本計画に基づき、まちなかの交流人口の増加等を目指し、誘客に努めていく必要がある。

法人としての経営状況は、概ね安定しているものの、指定管理料に頼らないためにも、経常経費の縮減や入場料収入の確保など、更なる経営努力と安定的な収入源の確保が課題となっている。

9 総合評価

- ① 概ね安定している。
- ② 経営課題の検討を要する。
- ③ 経営改善を要する。

経常利益や売上高(経常収益)が伸びているほか、人件費の削減などにも努め、経営状況は安定している。石ノ森萬画館の運営に関しては、今後とも入場料収入や事業収入の確保を図りながら、指定管理料に頼らない運営に向けた努力が望まれる。

また、会社設立の本来の目的である中心市街地活性化事業の担い手としてのTMO活動についても一層の充実を図る必要がある。